

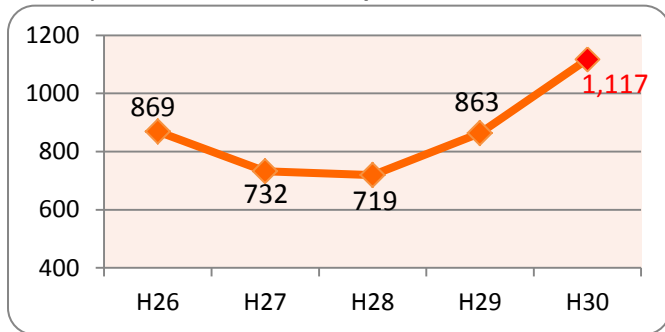


子供に対する声かけ・つきまとい等の 情報件数・分析結果

平成30年中

平成30年中、警察に寄せられた13歳未満の子供に対する声かけやつきまとい等の情報件数は、1,117件でした。

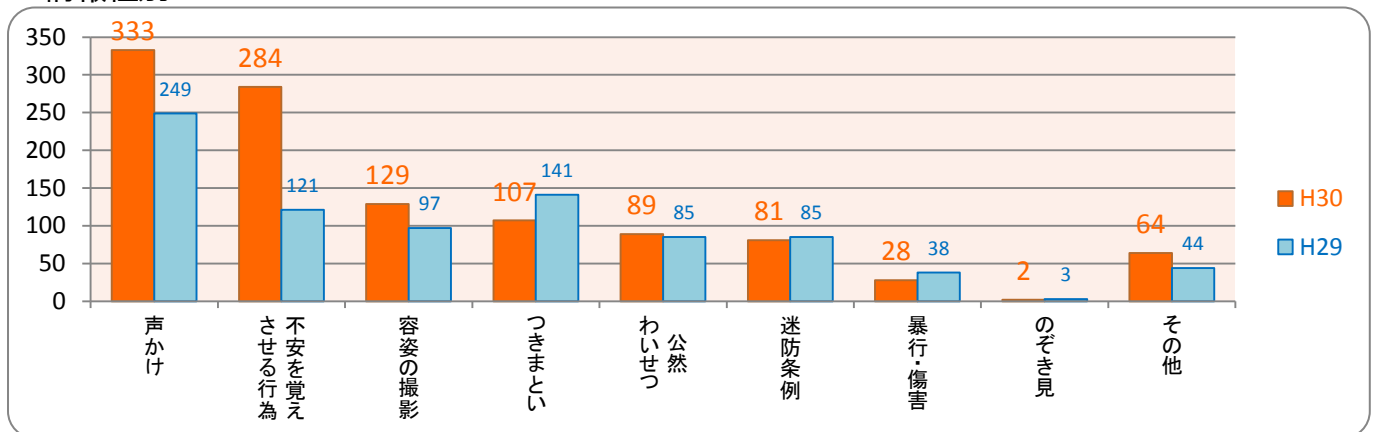
1 情報件数（過去5年間）



重要
POLICE

本資料の数値は、
・ 警察に寄せられた情報件数
であり、
・ 実際に発生した件数
ではありません。

2 情報種別



※「その他」は、建造物侵入、下着ドロボウなど

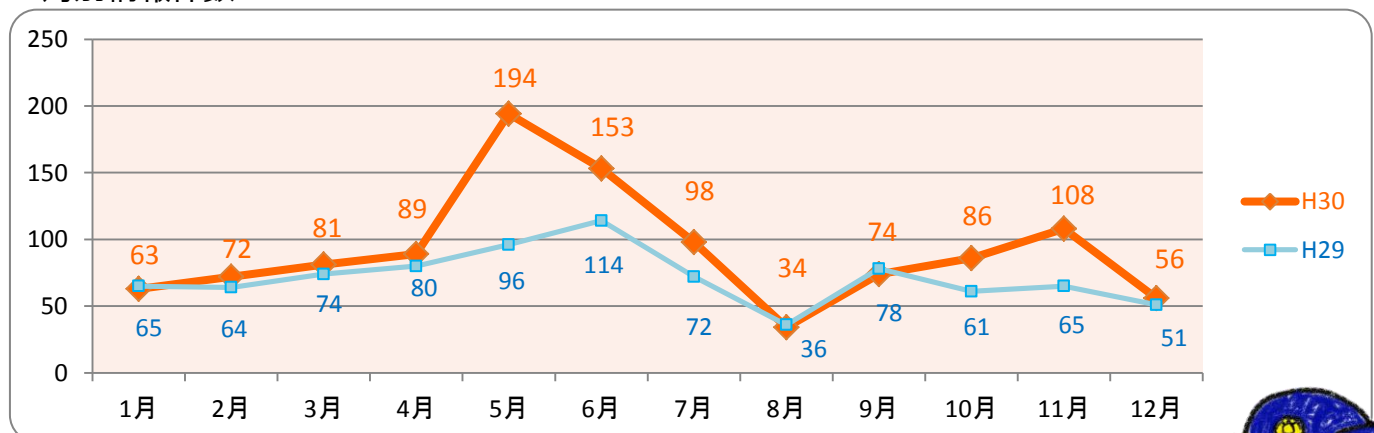
※「不安を覚えさせる行為」は、じろじろ見つめる、大声で叫ぶ等、子どもが不安を感じる行為

※「迷防条例」は、「盗撮」「痴漢」「卑わいな言動」を合計したもの



「声かけ」「不安を覚えさせる言動」が大幅に増加しています。

3 月別情報件数



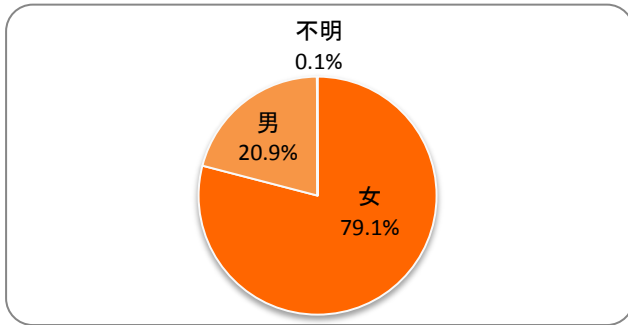
※ H30は9件、H29は7件の発生月不明分を除く



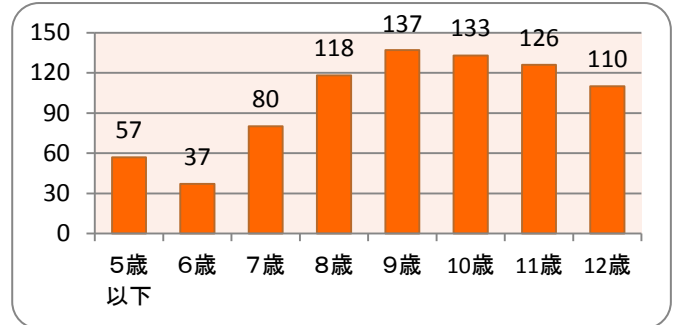
夏休みや冬休みなどの長期休暇中には減少する傾向にあります。
家族との外出・旅行など、子供だけで行動する機会が減少したり、
子供の行動パターンが不規則になるからだと思います。



4 狙われる性別

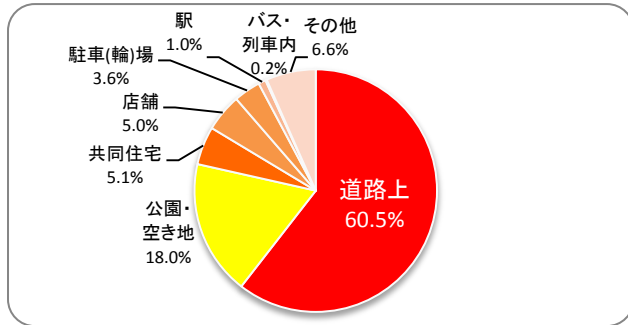


5 狙われる年齢



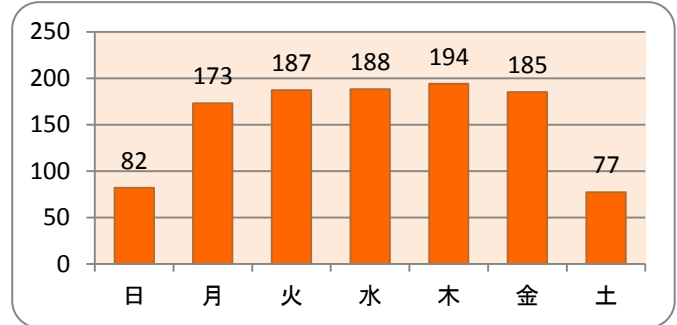
※年齢不明の319件を除く

6 狙われる場所



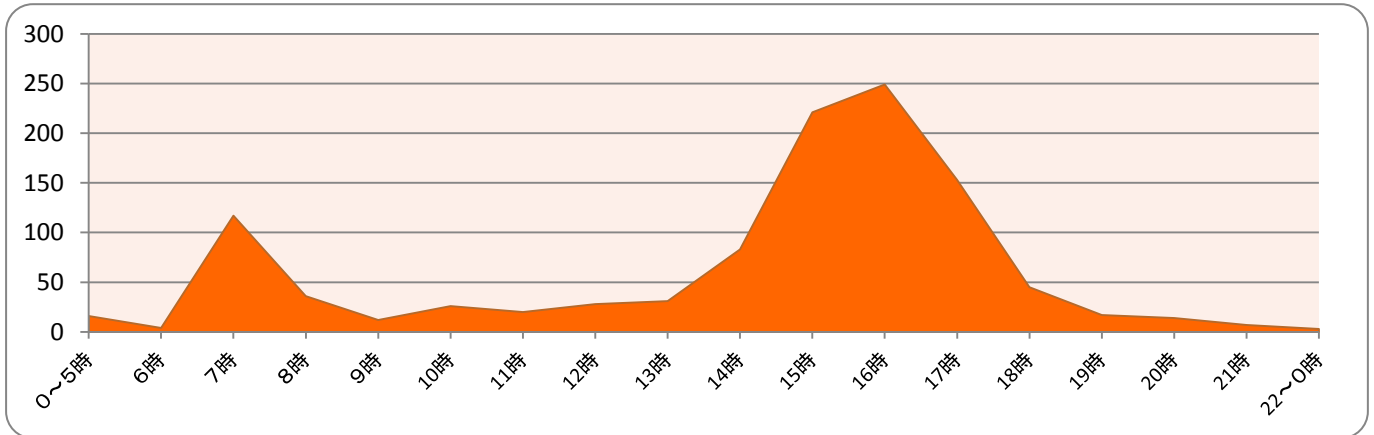
※「その他」は、一般民家等

7 狙われる曜日



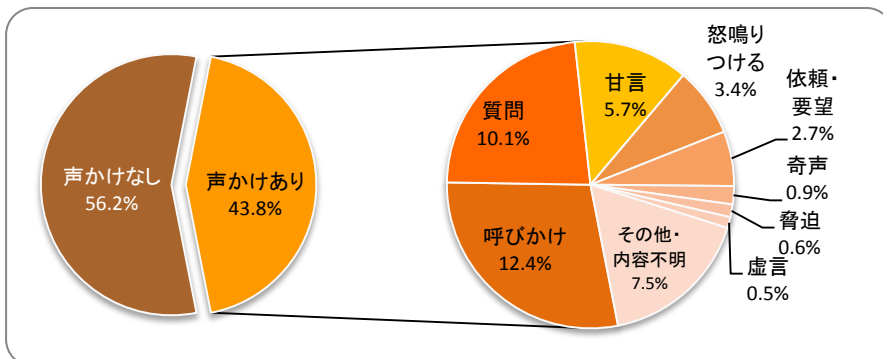
※発生曜日不明の31件を除く

8 狙われる時間



登校時間帯は、「不安を覚えさせる行為」「容姿の撮影」が多く発生しています。
下校時・下校後は、「声かけ」が最も多く発生しています。

9 声かけの有無・内容



4割以上の行為者が、声をかけ、接触を図っています。



※質問 = 「〇〇駅はどこ?」「何年生?」など

甘言 = 「お菓子を買ってあげる」「カードをあげる」など